



ロータリーは社会の扉を開く
RI会長 ホルガー・クナーク

2020-2021年



Rotary District 2640 Japan
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
海南東ロータリークラブ

会長 花畑 重靖 幹事 田岡 郁敏 SAA 角谷 太基

第 2039 回例会

2020年7月27日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

決算報告・予算案審議 100%出席表彰

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「四つのテスト」

3. 出席報告

会員総数 40名 出席者数 20名

出席率 51.28% 前回修正出席率 74.36%

4. 会長スピーチ

会長 花畑 重靖 君

皆様、こんにちは。先週はガバナー公式訪問を無事に終えることができました。有難うございました。

本日の例会は、決算報告・予算案審議 100%出席表彰です。宜しくお願いします。

依然として、新型コロナウイルスの感染が広がっています。各種のイベントもまた、中止となりつつあります。

6月16日～17月15日まで世界の感染者数は1,600万人と猛威を振るっています。今後のオリンピックや和歌山で開催予定の国民文化祭も中止になりそうです。みなさんも感染予防に努められ、健康、安全第一で、頑張ってください。

5. 幹事報告

幹事 田岡 郁敏 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山北RC 8月24日(月) → 8月24日(月)

18:30～ ルミエール華月殿 6F

(夜間例会&北RCゴルフ会親睦会)

○休会のお知らせ

和歌山RC 8月11日(火)

有田南RC 8月11日(火)

和歌山東南RC 8月12日(水)

有田2000RC 8月12日(水)

有田RC 8月13日(木)

和歌山城南RC 8月13日(木) 20日(木)

和歌山南RC 8月14日(金)

和歌山中RC 8月14日(金)

○例会取り消しのご案内

(新型コロナウイルス拡散防止の為)

有田2000RC 7月29日・8月5日、19日、26日

6. 決算報告

直前幹事 前田克仁 君

全員承認。



監査報告

監査(税理士) 岸 友子 君

7. 予算案審議

幹事 田岡 郁敏 君

全員承認。



8. 100%出席表彰

30年 岩井 克次 君

29年 小椋 孝一 君 谷脇 良樹 君

山東 剛一 君 山名 正一 君

27年 深谷 政男 君

24年 桑添 剛 君 花畑 重靖 君

23年 花田 宗弘 君

20年 山畑 弥生 君 上野山 雅也 君

19年 寺下 卓 君

16年 中西 秀文 君

15年 阪口 洋一 君

13年 魚谷 幸司 君

11年 大江 久夫 君

四つのテスト 言行はこれにてしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

- 10年 中村 俊之 君
- 8年 田岡 郁敏 君
- 7年 重光 孝義 君
- 3年 前田 克仁 君 清水 敏光 君
倉橋 順子 君
- 2年 宇恵 久視 君
- 1年 楠部 均 君 田中 淳 君

9. 閉会点鐘

次回例会

第 2040 回 2020 年 8 月 3 日(月)
19:00～ 海南商工会議所 4F
お誕生日・結婚記念日のお祝い

ニコニコ・BOX

- 中村 俊之 君 80会、幹事させて頂きました。御陰様で無事終える事ができました。
- 谷脇 良樹 君 80会、優勝出来ました。ありがとうございました。
- 上野山 雅也 君 80会、御陰様?で4位に入り次回幹事させて頂きます。
- 重光 孝義 君 80会 準優勝 次回優勝目指して頑張ります。
- 田岡 郁敏 君 93 才の患者さんから 100 才超えて長生きします。お世話になっているウエルネス・コートの清水さんをテレビに出したいと言ってくれました。頑張って治療します。
- 角谷 太基 君 久しぶりの80会、参加楽しかったです。幹事の中村さんはじめ皆さんありがとうございました。

新型コロナウイルスの国内での流行が始まり、フィリピンのマカティウエスト・ロータリークラブ会員は即座に行動を起こしました。地方自治体から新型コロナウイルスの最初の症例が報告されてすぐ、マカティシティにある同クラブは、リソースを集め、直接的支援を提供するために、数回の緊急会合を開きました。「パンデミックを受けてクラブは即座に行動に移しました」と話すのはクラブ会長のエリコ・テンスアンさんです。「私たちはロータリーです。問題を解決するのがロータリーです。だから私たちは、最前線で働く医療従事者にすぐに支援を提供するにはどうしたら良いかを考えました」。感染者数とコロナウイルスに伴う疾患が増えだしたことを受け、フィリピン政府は3月15日、ロックダウンを宣言。フィリピンの人口の半分以上が暮らすロン島では、ほとんどのビジネスが閉鎖され、公共交通機関も利用不可能となりました。



これにより、多くの医療従事者が通勤で大変な思いをすることになり、テンスアンさんによれば、勤務先まで2時間も歩かなければならない人もいました。安全な移動手段のニーズに応え、ジープやその他のほかの車両を製造する Francisco Motor Corp の CEO で会長であるクラブ会員のエルマー・フランシスコさんが、最前線で働く医療従事者がマカティやマニラにある病院に通勤ができるよう、10台のワゴン車を寄贈しました。また、交通局とも協力し、ワゴン車の運行許可を取得したほか、利用者にも最も便利なルートを手配しました。3月以来、30人乗車のワゴン車は、指定された乗車場と地元の病院の間を、毎日24時間体制で運行しています。

クラブはさらに、病院職員が必要とする個人防護用品(PPE)を多数生産してきたフィリピンのファッションデザイナーのグループが実施する「Fashion for Frontliners」という活動のための募金も行いました。PPE(マスク、手袋、ガウン)のために数千ドルを寄付したほか、フランシスコさんの車両を使って、これらを病院まで届けました。不動産業を営むテンスアンさん自身も、病院職員が衣服やPPEを洗うことができるよう、フィリピン総合病院に3台の洗濯機を寄贈しました。

「これまでのクラブによる対応に誇りを感じています」とテンスアンさん。「でも、まだやるべきことが多くあります。ウイルスが脅威となっている限り、クラブのリソースを最大限に生かしていこうと考えています」

Rotary NEWS



新型コロナウイルスの影響で公共交通機関が利用不可能(マニラ)のため、病院や検査機関で働く人たちにロータリー会員がワゴン車を提供